

出張報告

1. 訪問者：鳥羽、伊藤
2. 訪問国・機関名：インドネシア・Diponegoro University
3. 相手国対応責任者：Desrina 博士（ディポネゴロ大学）
4. 訪問日程：2019年12月8日～12月14日
5. 活動内容：

2019年12月8日 移動日（東京-Semarang）

2019年12月9日

- (1) ハイガイの採卵実験準備（鳥羽、伊藤）
 - a. 実験用機材の準備と設営
 - b. ハイガイの解剖と成熟状態検査
- (2) ハイガイのパーキンサス原虫検査の準備（伊藤）
 - a. 解剖手法の確認
 - b. RFTM 培地の調整

2019年12月10日

- (1) ハイガイ生息域の視察およびサンプリング（鳥羽、伊藤）
 - a. 自然生息域（Bedono）の視察とサンプリング
 - b. ハイガイ養殖場（Karang Tengah）の視察とサンプリング
 - c. 水産市場（Semarang）の視察とハイガイのサンプリング

2019年12月11日

- (1) ハイガイの測定と成熟状態検査（鳥羽）
- (2) ハイガイを含む生息地に分布する二枚貝の疾病検査（伊藤）

2019年12月12日

- (1) ハイガイの採卵誘発実験（鳥羽）
- (2) ハイガイを含む生息地に分布する二枚貝の疾病検査（伊藤）

2019年12月13日

- (1) ハイガイの採卵実験のまとめと打ち合わせ
- (2) ハイガイを含む生息地に分布する二枚貝の疾病検査のまとめと打ち合わせ

6. 問題点、改善点、提案等:

- (1) 問題点 相手国対応責任者の研究施設において、実験に必要となる飼育機材（温度計、ヒーター）、解剖道具、顕微鏡、試薬等が不足している。インドネシアではこれらの機材の調達には大きな困難があり、またインドネシア側研究者の経済的負担も大きい
改善案 解剖道具や飼育機材を日本側研究者が当該事業の消耗品費を用いて購入、次回、実験実施にインドネシアへ持って行って使用することを検討する。

7. 活動状況



写真 1. ハイガイのサンプリング調査（鳥羽）（2019.12.10）



写真 2. Semarang 市内の市場内で取引されるハイガイ(2019.12.10)



写真 3. Diponegoro 大学の施設内におけるハイガイ放卵実験(2019.12.11)



写真 4. Diponegoro 大学の施設内におけるハイガイ解剖実験(2019.12.12)



写真 5. Diponegoro 大学の施設内におけるハイガイ病理組織観察(2019.12.12)



写真 4. Diponegoro University の Desrina 研究室のメンバー(2019.12.13)

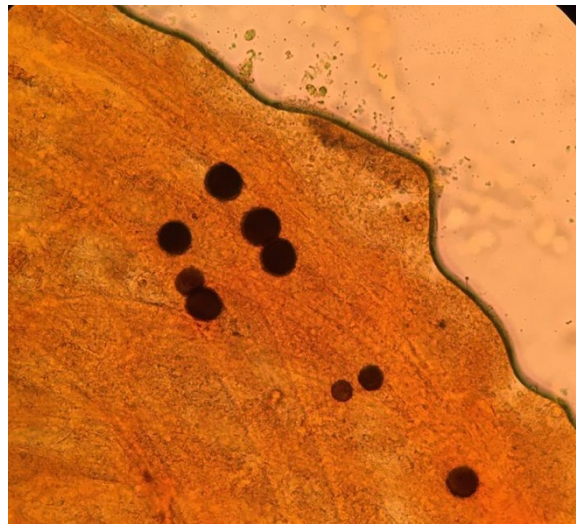


写真 5. ハイガイのエラから検出された *Perkinsus* 属原虫様の細胞 (後日)